

歩こう鶴舞

～徒歩で目指す地域～

名古屋工業大学大学院 都市交通研究室
 松浦一真 伊藤大智 呉謙 中野宏俊 松林祐太 横山裕章
 今井克寿 大橋雅也 小野木理紗 清水千尋 森本清誠

名古屋市鶴舞地域は、中心市街地から近く、名古屋市に初めて設置された公園である鶴舞公園を始め、私たちの在学する名古屋工業大学、市立図書館、名古屋市公会堂、JR・市営地下鉄の駅、大学病院などの公共施設が存在し、付近には大型ショッピングセンター、商業施設などが立ち並び、その周辺は住宅地となっています。

この地域は、自転車利用者が増加していることなどから、歩行意識を促すような施策を考え、歩いて楽しいまちづくりの在り方を提案し、安全・快適なまちの創出を目指します。



■鶴舞地域とは？



■鶴舞地域の成り立ち

- 戦前**
- ◆鶴舞公園で行われた関西府県連合共進会の成功を機に名古屋市の産業が発展
 - ◆全国で2番目の路面電車が市内を走っており、鶴舞公園前にも停留所が存在
- 戦後**
- ◆名古屋市は戦後の復興を機に南部の工業地域、中心部の商業地域、周辺部の住宅地域と地域割を行う
 - ◆鶴舞地区は工業地域と住宅地域の間中に存在する
 - ◆防災対策として2本の100m道路(久屋大通・若宮大通)を中心とした道路網整備が行われる
- 鶴舞地域から産業は発展し、今日、鶴舞地域は道路網整備などにより地域割の境界に位置している

■鶴舞公園の成り立ち

- 戦前**
- ◆1909年(明治42年)に、たびたび氾濫した精進川(新堀川)改修工事の浚渫土砂により、沼地を埋めて立てて造成される
 - ◆名古屋市設置初の公園で、翌年の「関西府県連合共進会(万博)」の会場にする目的で設置される
 - ◆共進会のため、現存する噴水塔、奏楽堂などが建設される
 - ◆フランス式の大花壇を中心に日本式庭園を配した和洋折衷の公園となる
 - ◆大正中期から昭和初期にかけて、移転した動物園、市立図書館、普通選挙法を記念した普選壇が設置される
 - ◆名古屋市公会堂、運動場・テニスコートなどが設置される
- 戦後**
- ◆空襲による焼失、伊勢湾台風などの被害から復興する
 - ◆現在は、朝は体操、昼間は散歩、花見、スポーツなど、都心にある大公園として、老若男女から親しまれている
 - ◆戦後に約千本植えられた桜が有名で、夜にはライトアップされている
 - ◆2009年に100周年を迎え、愛知県で初めて国の登録記念物に制定される



■鶴舞地域の現状～交通状況を中心として～

①自転車交通

- ◆自転車の利用者が多い
⇒駐輪スペースが過少であり乱雑に駐輪されていた
- ◆最近2年は市による駐輪場増設が行われており、監視員が駐在する
- ◆特にJR鶴舞駅病院口から名工大にかけて学生を中心とした自転車利用者が多く、歩行者との接触が危険である

②JR線と公園間の道路環境

- ◆JR鶴舞駅公園口の東出口(公園側)に歩道がなく、一方通行の道路があるため危険である
- ◆公園口のみエレベータが設置されており、病院利用者などが歩道の無いこの道路を利用することは危険である

③大学病院付近交通

- ◆JR鶴舞駅病院口にエレベータは設置されておらず、また、道路により公園と病院が分断されている
- ◆駐車場の容量が小さいため、朝から昼過ぎにかけて病院駐車場の出入り口に接続している道路の渋滞が慢性化している

④その他交通

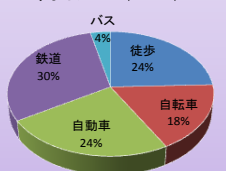
- ◆JR線を挟んで西側は商業地域である中区、東は住宅地域である昭和区となっている
- ◆鶴舞駅でJR線と市営地下鉄が交差している
- ◆鶴舞地域北側は100m道路である若宮大通があり、その上を都市高速が走る
- ◆JR鶴舞駅西側に交通量の多い五枝交差点が存在する

鶴舞地域は、自転車利用者が多く、道路構造や交通事情の制約によりさまざまな問題が発生している → **改善が必要！！**

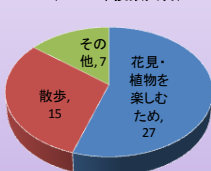
■鶴舞公園での歩行者アンケート

鶴舞地域の実態を把握するため、公園内歩行者86名に対してアンケート調査を行った。鶴舞公園を目的地として歩行していたのは86名中44名であり、その他の42名は周辺施設などへの移動のために公園内を通過するだけの公園利用者であった。

Q 鶴舞公園まではどの交通手段で来ましたか？(N=86)



Q 鶴舞公園を利用する目的は何ですか？(N=44、複数回答)



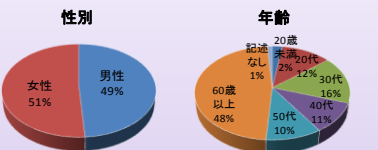
Q 鶴舞公園や鶴舞地区に対してどのようなイメージをもっていますか？

- ・(年間を通して)花がきれい
- ・緑が多い。自然豊か
- ・きれいに整備されている
- ・静かで良い
- ・駅から近く、交通の便が良い
- ・公園が広い
- ・気持ちがいい、リフレッシュできる

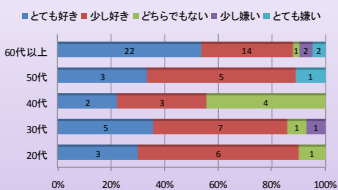
Q 今後、より魅力ある鶴舞公園や鶴舞地区にするための意見や要望などがありますか？

- ・今のままでよく、改良する必要はない
- ・花や緑を保全し、増やして欲しい
- ・木々の整備、掃除などをもっと欲しい
- ・食事をする所が欲しい
- ・イベントをもっとするのいい
⇒イベントはやって欲しいくない
- ・子供の遊べる場所を増やして欲しい

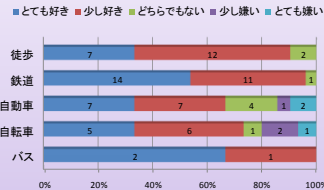
アンケート対象者の個人属性



Q 歩くことは好きですか？(年齢別)



Q 歩くことは好きですか？(交通手段別)



〈鶴舞公園の利用目的〉

公園の利用目的としては、花見や植物を見るためという回答が多かった。

〈鶴舞公園や鶴舞公園のイメージ・要望〉

公園内の施設整備については現状に満足している、変える必要はないという意見が多くあった。

また、公園内の環境に対しては、花がきれい、緑が多いなど良いイメージを持っているという意見が多かった一方で、今よりもっと花や緑を増やして欲しいという要望も散見された。

調査結果より...

歩行に対する意欲は、高齢者を含めて高いことが分かった。

また、花を楽しむことを目的に公園を訪れる人が多く、公園内の植物など、自然環境に対する期待の高さが明らかとなった。

交通状況より

...自動車と歩行者の事故をなくしたい

アンケートより

...今以上に歩いて楽しめる場を提供したい

交通状況より

...自動車から公共交通へ移行させたい

■提案～「歩いてポイントゲット(APG)システム」による歩行促進～

歩いてポイントゲット(APG)システムとは...

歩行者がカードをカードリーダーにかざすことによりポイントが貯まり、そのポイントを使って特典を享受できるシステムである。カードリーダーは歩行者のみが利用できる場所に設置する。

①学生



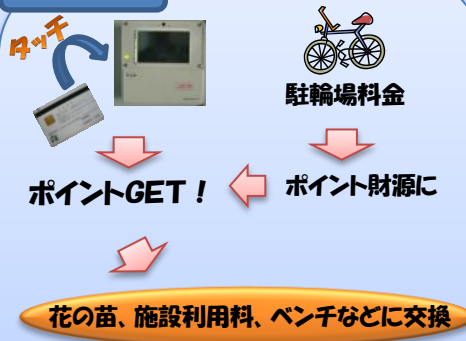
内容

名古屋工業大学の学生証にはICチップが搭載されており、これを用いて校内で買い物、授業の出席管理ができる。この学生証を利用し、学校の正門前に設置したカードリーダーに、徒歩で通学する学生を限定してタッチしてもらう。その際に売店などで利用できるポイントを付加する。ポイントは買い物等に用いることができる。

財源

自転車を利用して通学する学生には、有料で名古屋工大ステッカーを発行し、発行料をポイントに回す。自転車利用者から課金することで、自転車利用者をさらに減らす効果が期待できる。

②地域住民



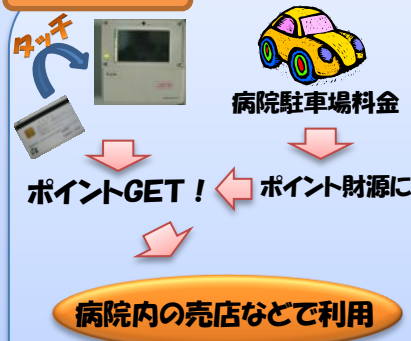
内容

①学生提案と同様に、各施設やショッピングセンターにカードリーダーを設置し、その間を徒歩移動した方に、配布したカードをタッチしてもらう。そして、貯めたAPGポイントを花の苗と交換する。交換した苗をみながら育て、花に自分の好きな名前をつけ、成長過程を楽しんでもらう。APGポイントは公園のベンチや施設利用料などとも交換可能にする。

財源

駐輪場を有料化し、その料金を一部をAPGポイントとして還元する。また、土日、学生の長期休暇など自転車を使用しない期間の放置自転車を有効活用するため、自転車共有システムを考えた。その使用料金を一部を財源とし、さらにその一部をポイント還元する。

③病院利用者



内容

大学病院の駐車場の容量が小さいため、入庫待ちの自動車による病院前の道路渋滞が問題となっている。この問題を解消するため、JR・地下鉄の駅改札内と病院内にカードリーダーを設置し、この間を歩いてもらうことでポイントを付加して自動車から歩行に移行を促す。ポイントは病院内の売店やコンビニ、飲食店で代金の一部として利用できるようにする

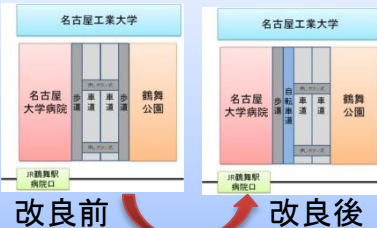
財源

財源としては、病院駐車場の駐車料金の値上げにより対応する。これにより、病院利用者の自動車から公共交通への移行をより促進し、交通問題の解消につなげることができるものとする。

■提案～駅前構想～ APGシステムを導入するにあたり、ハード面整備による歩行環境の向上を目指す

①大学病院と公園間の道路環境改良案

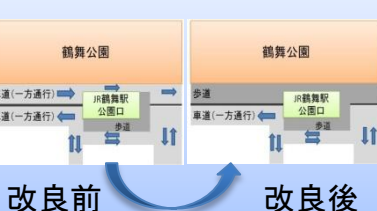
●両側の歩道を片側に大学病院と公園間にある歩道は狭く、歩行者と自転車の接触事故が起る恐れがある。また、夜間の公園側の歩道は特に暗く、治安上安全とは言えない状況である。



車道を鶴舞公園側に寄せ、大学病院側の歩道を広げ、新しく自転車道を増設する。これにより、歩行者の安全を確保する。

②JR線と公園間の道路環境案

●公園側の車道を歩道に鶴舞公園側の線路沿いの道路には歩道がなく公園付近を利用する歩行者にとって危険である。

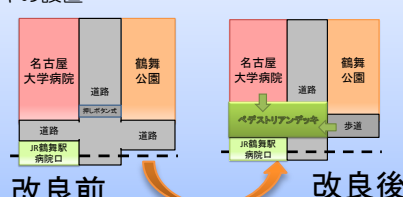


鶴舞公園側の線路沿い車道(一方通行)を車両進入禁止とし、歩道を増設し、駅と公園との一体化をねらう。また、鶴舞公園側でない側の道路は完全な一方通行でないため、こちらに進入禁止した方の車両を移行できる。

③JR鶴舞駅病院口付近道路環境改良案

●ペDESTリアンデッキの設置

JR鶴舞駅から大学病院へ向かうには、ホームから階段を下り車道を横断しなければならず、病院利用者にとって非常に不便である。



ペDESTリアンデッキを設置することにより、JR鶴舞駅のホームから直接大学病院へアクセスできるようにする。

■まとめ

- ・鶴舞公園という歩行・周遊に適した環境
 - ・公園・駅周辺は歩行にあまり適していない環境
 - ・学生を中心とした自転車利用者が多いという現状
- これらの特徴を踏まえ、鶴舞地域を対象にAPGシステムとそれを推進するためのハード面整備を提案した。課題としては、APGシステムの実際の効果の検証がされていない、病院や大学関係者などを視野に入れた考慮がされていない、などが挙げられる。